

第58回全国社会人サッカー選手権大会参加報告



2級審判 寺岡大輔

はじめに、全国大会に参加でき、大変貴重な体験を多くさせて
いただきました。推薦していただいた、関西サッカー協会のみな
さまに改めて感謝いたします。

そして大会を開催すべくご尽力いただいた、すべての方々に感
謝申し上げます。

本当にありがとうございました。

地域2級強化審判員として10月14日（金）から10月16日
（日）まで鹿児島県志布志市内各会場で参加したご報告をさせて
頂きます。

第1回事前研修 10/3 20:00～21:30 ZOOM研修
挨拶
大会要項確認
競技規則の確認・・・オフサイドについて
事務連絡

第2回事前研修 10/11 20:00～21:30 ZOOM研修
大会テーマに沿ったプレゼン
映像を用いたグループディスカッション
事務連絡

前日全体MT 10/11 19:00～20:00 ZOOM研修
大会要項確認
大会第1日目割当発表
事務連絡

大会テーマ

『プロアクティブなレフェリング』

プロアクティブとは・・・前向きな、積極的な、先見的な意を表す形容詞

第1日 1回戦【5】志布志運動公園人工芝サッカー場 10:30

富士クラブ2003
東北代表

0 (0 - 0) 4
0 - 4

栃木シティFC
関東代表

R : 寺岡 大輔(関西) A1 : 佐々木 康介(九州) A2 : 鍵谷 謙吾(九州)

4th : 児玉賢太郎(九州) アセッサー : 中岡 誠氏

○良かった点

- 精力的に動き、スプリントも申し分ない。
- 得点に絡む副審のオフサイドフラッグアップの対応
- PK判定のSPA判断
- ADVを出すタイミングがよい。
- 負傷者の対応

●改善点

- バイタルエリアへの入り方
- 本部近辺とその反対側への寄り方が甘い。



第2日 2回戦【21】 志布志市しおかぜ公園多目的広場A 13:40

BTOPサンクくりやま 3 ($\begin{matrix} 2 & - & 0 \\ 1 & - & 0 \end{matrix}$) 0 コバットーレ女川
北海道代表 東北代表

R : 大藤 翔平(中国) A1 : 大戸 魁(中国) A2 : 寺岡 大輔(関西)

4th : 佐々木 康介(九州) アセッサー : 名木 利幸氏

○良かった点

1点目ノットオフサイド判定。

●改善点

得点後のダッシュが遅い。



大会を振り返って

この度は、初めて全国社会人サッカー選手権大会に強化審判員として参加させていただきました。2日間で主審・副審2試合の割当をいただきました。

顔を合わせた研修はできませんでしたが、試合を通じて他地域の審判員との交流を深め、意見交換していく中で皆様の日頃の審判活動における留意点やサッカー感などを知ることができ、刺激を受けた期間となりました。

この2日間の貴重な経験を関西・兵庫県の審判員に還元できるように、また若手審判員のよき見本となれるように日々精進してまいります。おそらく、0-35審判員は関西のみで、大会最年長審判員でしたが、他地域に劣ることなく、自分らしさを存分に発揮できたと実感しております。

最後になりましたが、大会開催にあたり、準備から関わっていただいたすべての方々に、また全会場全試合ライブ配信を実施していただいた兵庫県社会人連盟の方々に深く、感謝いたします。本当にありがとうございました。

関西派遣審判員



参加報告書 全国社会人大会 in鹿児島県志布志

2級審判員 足立正輝

この度は、このような全国大会に推薦派遣をしていただきありがとうございます。
させていただきます。

派遣されました10月14日から17日の全国社会人大会と事前研修の参加
報告をさせていただきます。

〈zoom事前研修〉

10月4日（火） 20時00分～21時00分

- ・ 大会要項の確認
- ・ オフサイドの解釈についての説明
- ・ 研修会のテーマ「プロアクティブなレフェリング」
プロアクティブとは…前向きな、積極的な、先見的な意を表す形容詞
このテーマを基に次回の研修でディスカッションを実施していくこと
になりました。

10月11日（火） 20時00分～21時00分

- ・ 映像を使っでのディスカッション/インストラクターによるプレゼン
JFLの4つのシーン映像を使い、プロアクティブなレフェリングとは何か、
プロアクティブなレフェリングをするためには何が必要かをディスカッ
ションしました。

プロアクティブなレフェリングとは、

→絶対にやらなければならない状態になる前にそれをやること。

《 問題となる可能性がありそうだなと感じたら、気づくためには、
「空気をよむ」 + 「先手を打つ」 ⇒ 『気づき』 》

早く気づくことにより、選手の感情や気持ちを感じ取ることで、
早い段階での介入とプレーする時間を増やすことができる。

気づきに必要なスキル

- ・ 問題解決能力(整理力) ➡ 何を見て、何を感じて、どう判断
するのか。
- ・ コミュニケーション能力 ➡ 正しい情報に基づいて、正しく伝える。
- ・ リーダーシップ ➡ 強い意志と決断力
試合の流れや状況を把握し、次の行動を予測、そしてアクション
することで試合を円滑に進めていくことにつながっていきます。

10月14日（金） ホテル集合日

〈全体ミーティング〉

大会参加アセッサーから一言ずつご挨拶をいただきました。

- ・ 失敗することもあるが気にせずチャレンジ精神を忘れずに
チャレンジしてください。
- ・ 日頃の成果をここで試して、チャレンジしてください。
- ・ 準備して頂いた人々に感謝を忘れずに参加してください。

10月15日（土）

1回戦 アルティスタ浅間 vs VONDS市原

主審：足立正輝 副審：友政利貴氏 / 石坂琢馬氏
第四審判：壺岐友哉氏 アセッサー：村上孝治氏

私自身、1種初の全国大会の舞台でもあり、とても緊張した中でのスタートとなりました。

試合後の振り返りでは、アセッサーから「動きとポジショニング」についてアドバイスをいただきました。

レフェリーサイドに出る動き、対角線式審判法をする上で、「外に出るタイミング」「中に留まるタイミング」「中に入るタイミング」これら3つを試合の流れ、状況を感じて行動をとり、その動きをスムーズに、尚且つスムーズな動き出しをすることで、より良いポジショニングが確保できるとアドバイスをいただきました。

〈全体ミーティング〉

各会場で起きた問題点、チーム情報、会場情報の共有。その後事務連絡。

- ・テクニカルエリア、ベンチの使い方と第4審判員の役割。
→テクニカルエリアの使用人数、ベンチマナーなどどこまで自由に行っているのか線を引く。
- ・セパレート型ソックスの着用方法に問題が多く見受けられた。
→試合前のチェック、交代時のチェックで、この試合を任されている審判員として妥協せずに厳しく指摘、指導を行う。
- ・ゴールネットの不備。
→フィールドチェック、ウォーミングアップ、試合前、後半開始前に必ずチェックを行う。
- ・主審の行動で選手に向かってボールを投げて渡すのはいいのか？

10月16日（日）

2回戦 関大FC2008 vs 沖縄SV

主審：友政利貴氏 副審：足立正輝 / 坂田純平氏
第四審判：白拍子祐介氏 アセッサー：村上孝治氏

1回戦で私の副審を担当してくださった友政さんが主審を担当し、私が副審となって2回戦を担当しました。その中で「今の私に何が足りないのか、何が違うのか」を感じることができた試合となりました。

アセッサーの方には、「私が担当した試合と今回の試合で動き方、スムーズな動きの違いを参考に観て学んで見てください」と教えていただきました。試合終了後、2回戦と1回戦の試合で、自分と違うところ、足りないところを含めて友政さんと意見交換をさせていただきました。

「主審の動きとポジショニング」「試合展開」「何をどのタイミングで考えるのか」「主審と副審の関係性」これら4つを私の試合と比べながら話をしましたが、どれも私の考え方よりも細かく、深い考え方をされていました。

私自身これらについて考えていましたが、漠然としたものでしたので、より細かく考え、ベストよりもベターな方法も必要だと、とても勉強になりました。

〈全体ミーティング〉

各会場で起きた問題点、チーム情報、会場情報の共有。その後事務連絡。

10月17日（月）

3回戦 栃木シティFC vs ブリオベッカ浦安

主審：足立正輝 副審：原田大輔氏 / 高島昌康氏

第四審判：細谷励氏 アセッサー：名木利幸氏

この試合では、栃木シティFCがチャンピオンシップ出場権を持っており、同じ地域リーグに所属しているのでお互いのチーム状況を把握している試合となりました。

振り返りでは、アセッサーから「レフェリーの表現」「サッカーと喧嘩の違い」「レフェリーとしてのモチベーションスイッチのタイミング」について話をさせていただきました。

「レフェリーの表現」では、シグナルをしているが“シグナルの見映えが良くない”との助言をいただきました。①大きな体を活かしたシグナルを心掛ける②選手に注意をする時は立ち止まって話をする③シグナルは堂々と大きく、時間をかけて全体に伝える。

レフェリーに注目が集まるタイミングこそレフェリーの見せ所。

「サッカーと喧嘩の違い」では、選手が何に対してテンションが高くなっているのかを直ぐに感じ取ることが重要。高くなったテンションをどのように下げるかは、サッカーに対してなのか、喧嘩に対してなのかを見極めて適切なマネジメントで温度、テンションを下げていく必要がある。そのためには今日の試合は何が起きるのかを考え、どのような試合展開にしていくのかを事前に考える必要がある。

「レフェリーとしてのモチベーション」では、しんどい時こそレフェリーの見せ所。それは、試合全体のテンションが上がってきている時、カウンターが起きた時、マネジメントする時、対立が起きた時など、レフェリーの存在感を出すタイミングでここはレフェリーの見せ所、リーダーシップを発揮する場面と気持ちを入れることができるかでどうかで試合のパフォーマンスが変わってくる、と大きく分けて3つのアドバイスをいただきました。

〈まとめ〉

今回、3年ぶりの全国社会人大会開催、そして私自身は1種での全国大会が初めての参加でしたので、わくわくする気持ちと緊張する気持ちがあるなかで大会に参加させていただきました。

動きの質や、マネジメント力、様々なことにチャレンジができたと思います。チャレンジの中で新しい課題の発見、そして大きな経験と自信がついたと思います。コロナ禍での感染対策の関係で皆さんと対面での意見交換やディスカッションはありませんでしたが、同控室や会場までの行き帰りでの限られた時間の中でお話できたことは良かったです。この全国大会で得た経験を今後の審判活動に活かして行けるよう日々精進してまいります。

最後になりましたが、今大会に参加させていただきありがとうございました。無事に派遣日程を終えることができたのも、鹿児島サッカー協会、社会人連盟、運営に携わっていただきました皆様のお力添えのおかげと感謝しております。誠にありがとうございました。

これからもご指導ご鞭撻のほど、よろしく願いいたします。